

西建協だより

245号

2014年
12月

西

みやぎ中小建設業協会との意見交換会及び被災地視察を終えて

災害対策安全副委員長 戸 高 弘 喜

西多摩建設業協同組合災害対策特別委員会副委員長戸高喜が、みやぎ中小建設業協会との意見交換会・被災地視察の責任者という事で、今回の意見交換会及び視察について書かせて頂きます。

今回の企画は東日本建設保証株式会社創立六十周年記念建設業貢献策に係る助成金「防災・減災対策事業」を活用し平成二十六年十一月十四日金曜日から十五日土曜日の二日間にわたり、宮城県仙台市にあるKKRホテル仙台において、西多摩建設業協同組合及びみやぎ中小建設業協会との意見交換会・被災地視察を行いました。

以前より西多摩建設業協同組合とみやぎ中小建設業協会では交流があり、東日本震災での対応などを実際に体験したみやぎ中小建設業協会の皆様と意見交換会をすることにより、必ず来るだろうと思われる首都直下型地震について当組合でも震災に対するしつかりとした対応が出来ていれば、地元西多摩を守る事が出来ると思ひ、今回の意見交換会及び被災地視察を開催することになりました。

西多摩建設業協同組合から二十五名・みやぎ中小建設業協会十五名の総勢四十名の意見交換会は約二時間四十五分行なわれ、一部と二部に構成で、一部ではみやぎ中小建設業協会より『震災対応活動の紹介』という事で、被災がひどかった気仙沼地域の舗装工事中に大地震にあった話や、津波震災にあった話、内陸部での震災の話、災害救助法に基づく住宅の応急修理の話が行われました。

回答して頂いた会社の社長さんは震災から二日後が検査だったとの事で、当初は役所も震災により検査どころではなく、少しして担当者に話したところ結局検査が二ヶ月遅れて入金も六月かかったとの事でした。

その時に工事請負契約書があれば銀行等で色んな融資をしてもらえのだが、工事請負契約書がなかった場合は工事写真で完成とみなしたとの事でしたが、大震災後に工事請負契約書もなく写真もないので、工事金額が入金されるまでの資金繰りが正直大変だったとお話しされていました。

意見交換会は約四十五分でしたが当組合からも質問がたくさん出ており、またみやぎ中小建設業協会からも当組合に質問があったりと、大変良い意見交換会がされました。その後の懇親会でも話は尽きず、その中でも個々に情報交換して今後このような会を続けていけるようにという事になりました。

翌日八時にホテルを出発して、今回の被災地視察場所の石巻地区に向かいました。現場名は『長面九工区農地災害復旧除塩工事』の現場で、田んぼだったところに津波で堤防を越して海水が田んぼに入ったものを、土を入れ替えて攪拌して農業が出来る塩分濃度にする工事でした。

現場代理人さんの話を聞くと、役所では十年で工事完了を目指していますが二十年はかかるとの話でした。

その現場の隣に、ニュースにもなった大川小学校がありました。

この小学校は、津波から逃れるため先生の指示で土手に逃げたのですが、津波が土手に来てしまい小学生七十数名の尊い命がなくなりました。

小学校は窓枠など一切なく、校舎を結ぶコンクリートの通路は倒れていて、テレビで見ると映像とは違い津波の恐ろしさを目の当たりに見ました。校舎の隣の山の下では、今でもボランティアの方々方が植栽をしていました。その山の五mほどの木が変色しており、その高さまで津波が来たとの説明を聞き驚きました。

今回の企画は東日本建設保証株式会社創立六十周年記念建設業貢献策に係る助成金「防災・減災対策事業」を活用し平成二十六年十一月十四日金曜日から十五日土曜日の二日間にわたり、宮城県仙台市にあるKKRホテル仙台において、西多摩建設業協同組合及びみやぎ中小建設業協会との意見交換会・被災地視察を行いました。

西多摩建設業協同組合所有（小型除雪機）のお知らせ 事業委員長 小高 城司

平成26年11月19日、4月より準備を進めていた小型除雪機8台を無事に西多摩建設業協同組合に納入する事が出来ましたので、組合員の皆様にご活用して頂きたく、お知らせさせていただきます。

まだ、記憶に新しい今年の2月8日及び2月14日の大雪から9ヶ月がたちました。

当時の除雪作業は組合員の皆様も大変苦労されたと思います。特に大変な作業は歩道部の人力による除雪作業だったと思います。

この経験を生かし、理事会にて今後の除雪の対応方法等を協議しながら、組合で小型除雪機を購入して、『西多摩の除雪作業に役立てよう』と



の結論に至りました。西多摩は4市3町1村からなる8市町村であることから、除雪機各地区に1台というかたちで、8台購入致しました。購入に際しては、日ごろから大変お世話になっています、東日本建設業保証株式会社の勝又支店長様にもご尽力いただきまして、大変感謝しております。

今後は前回の雪害の経験を生かし、各関係機関と協議を行いながら迅速な除雪対応が行えると思います。

12月から3月までは前回のよう、雪が降らないとは限りません。

きちんとした装備を整えて、西多摩地域の安心・安全を守りたいと思います。

西多摩建設業協同組合の組合員の皆様、今後も協力しながら頑張りましょう。



◇日建学院青梅認定校(西建協)からのご案内◇

受講生募集案内 『合格のための受験対策講座』
 <青梅校 2015 年度開講講座>

- ◎ 2 級建築士学科 (日曜) コース
- ◎ 1 級建築施工管理技士学科講座 毎週 火・木
 講義日程 2月19日(木) スタート
- ◎ 1 級土木施工管理技士学科講座 毎週 火・木
 講義日程 3月中旬スタート
- ◎ 給水装置工事主任技術者 受験対策講座
- ◎ 2 級土木施工管理技士コース
 基礎講義 6月25日(木)～7月9日(木)
 18時40分～20時10分 毎週 火・木
 本講義 7月14日(火)～10月13日(火)
- ◎ 宅地建物取引主任者本科コース
 ・講義日時 基礎講義 3月初旬(水)～4月中旬
 本講義 4月下旬(水)～9月24日(水)
 13時～17時20分 毎週 水
- ◎ 2 級建築施工管理技士コース
 ・講義日時 基礎講義 9月1日(火)～9月15日(火)
 18時30分～20時00分 毎週 火・木
 本講義 9月24日(木)～11月4日(日)

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として
 青梅校を開講(6年目)致します。
 会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の
 連絡をお待ちしております。

- * 詳細説明は随時致します。
- * 先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先 青梅認定校(西建協) 0428-22-6245 石川
 日建立川校 担当: 澤田 080-9349-3870

11月事業報告

- 4日 「若年者入職促進イベント」開催
 - ・多摩地区建設業 合同企業説明会開催
 - ・トークイベント ゲスト アンガールズ
 会場: パレスホテル立川 ローブルーム
- 5日 西多摩地区建設業界暴力団等排除協議
 平成26年度研修(講演)及び総会開催
- 10日 災害対策安全委員会
- 11日 広報委員会 244号編集発行
- 14・15日 東日本大震災被災地研修実施
- 17日 総務委員会
- 19日 除雪機8台納車
- 19日 理事会
- 28日 技術講習会開催(災害対策安全委員会)

12月事業計画

- 2日 事業委員会
- 3日 第16回西多摩地区安全衛生大会(西多摩分会)
- 9日 現場安全パトロール 災害対策安全委員会
- 10日 若手経営者の会 忘年会
- 12日 広報委員会 245号編集発行
- 15日 総務委員会
- 17日 理事会

1月21日(水) 新年会 午後6時から
 会場: 青梅市福祉センター 3階すずらん

災害対策安全委員会パトロール報告

災害対策安全委員会 副委員長 島田昌典

平成26年12月9日に実施した、安全パトロールについて報告いたします。

今回は委員が2班に分かれて、3現場のパトロールを行いました。各現場ともに、大変よく管理されており指摘事項はありませんでした。そんな事から、各現場において良かった点を記載いたします。

①奥多摩建設工業(株)

工事名: 道路災害防除工事(26西の10)
 工事場所: 奥多摩町日原地内
 請負金額: ¥94,248,824円
 現場代理人: 青木孝道 進捗率: 47%

整理整頓がよく出来ていて、毎朝のKYでの墜落災害の防止対策も徹底されていた。急勾配の階段だったので、手すりを3段設置しているところが良かった。

②(株)興栄

工事名: 道路改修工事及び電線共同溝設置工事(西一駒木の16)
 工事場所: 青梅市駒木町1丁目地内
 請負金額: ¥100,000,000円
 現場代理人: 下山光徳
 進捗率: 5%

腕章を付けた架空線監視員を選任しており、バックホウの旋回や、ダンプの荷台の上下時などを注視していた。

「とまるくん」という車両強制停止装置を作業帯最前部に設置し、作業帯内の安全を確保していた。(写真参照)



③(株)村尾重機

工事名: 青梅市藤橋三丁目9番地から同市今井三丁目1番地先間外
 1カ所配水小管布設替え及び新設工事
 工事場所: 青梅市藤橋三丁目地内
 請負金額: ¥240,000,000円
 現場代理人: 並木孝治
 進捗率: 55%

現場代理人から作業員まで全員がお揃いの安全チョッキを着用していたが、その安全チョッキがオリジナルカラーに溢れ、イメージがとても良かった。(写真参照)

職務分担が一目で分かるように、ヘルメット前頭部に明示してあった。

作業員全員が、緊急時の連絡体制などの対応を記載したカードを携帯していた。(写真参照)

どの現場も、創意工夫がなされていて素晴らしいと感じました。

「安全は全てに優先する！」当たり前のことであり、誰もが頭では理解していることです、しかしながら現場での事故は無くなりません。

事故で幸せになる人はいません、現場に携わる人、一人一人が安全に対する意識を、レベルアップすることが大切なのではないでしょうか。

今のままで良いと言うことではなく、全ての事は今以上にレベルアップできるはずだという気持ちで、現場全体を見て、創意工夫し安全に対する、新しい行動を起こすことが必要だと思いました。

